

公益財団法人仙台観光国際協会 平成28年度事業報告

[公益事業等]

1. 観光振興に関する事業

観光客誘致による地域活性化及び国際交流活動の促進を図る事業を展開した。

(1) 海外プロモーション事業

行政及び民間企業等と連携し、アジア等の地域からの外国人観光客誘致を目的に、仙台への来訪を促す各種事業を行うとともに、外国人観光客の増加を図ることによって国際交流の促進と地域経済の活性化を目指し、各種事業を実施した。

① 誘致事業

海外からの旅行者を仙台へ誘致するため、プロモーション対象となるアジア等の都市において、観光目的地としての仙台の認知度を高めるため、仙台の魅力を一般市民向けに PR した。また、仙台の旅行商品造成や現地の雑誌等へ仙台の記事掲載を促すため、相手国の旅行エージェントやメディアを対象に誘致 PR 事業を実施した。

i. 海外旅行博覧会・商談会等参加助成事業

台湾（台南市）で8月に開催したセミナー・商談会に参加する宿泊施設の渡航費用の一部を助成した。

ii. 台湾プロモーション

平成28年1月に台南市旅行商業同業公会と締結した“観光に関する相互協力協定”のもと、仙台市から台南市へ奥山仙台市長をはじめとする訪問団が派遣される交流促進協定締結10周年記念事業と時期を合わせて観光プロモーションを実施した。

- ・平成28年8月20日（土）～8月24日（水）
- ・仙台・東北観光セミナー：台南市側110社，仙台市側29名
- ・旅行商談会：台南市側20社21名，仙台市側9社11名
- ・仙台・台南友好交流の夕べ：台南市側41名，仙台市側16名
- ・企業セールス：3社

iii. 台湾，タイでの見本市への出展

台湾：大台南国際旅行博 平成28年12月2日（金）～5日（月）

東北観光プロモーション in 台湾2016（台中・台北）

平成28年12月7日（水）～8日（木）

タイ：タイ国際旅行博第19回 平成28年7月11日（月）～18日（月）

タイ国際旅行博第20回 平成29年2月14日（火）～22日（水）

iv. 台湾，タイへの各種団体・組織と連携した誘致営業

ア 秋保温泉旅館組合タイプロモーション（セミナー・商談会）及び現地エージェントセールス（12月）

- ・秋保温泉宿泊の商品造成・販売

イ タイ国旅行業協会とのインセンティブツアー等の促進に関する相互連携・協力協定の継続締結

- ウ 台南プロモーション（セミナー・商談会・交流会）及び現地企業セールス（8月）（再掲）
 - ・協会賛助会員9社11名参加

v. 仙台で開催された見本市・商談会への出展・対応

- ・シンガポール・マレーシア商談会 平成28年 5月30日（月）
- ・広州旅遊局セミナー 平成28年 6月17日（金）
- ・東アジア商談会（中国・台湾・香港） 平成28年 6月22日（水）
- ・台湾エージェント商談会 平成28年10月12日（水）
- ・四川省成都意見交換会 平成28年11月21日（月）
- ・台南教育旅行意見交換会 平成28年11月30日（水）
- ・台湾エージェント商談会 平成28年12月11日（日）
- ・中国北京・上海商談会 平成29年 1月13日（金）
- ・タイエージェント商談会 平成29年 2月11日（土）
- ・中国北京エージェント意見交換会 平成29年 3月31日（金）

vi. インセンティブツアー手配業者への営業推進活動

- ・インセンティブツアー対応企業訪問説明（JNTO, JTB, KNTグループ等）

vii. 賛助会員と連携した営業の推進

- ・協会賛助会員施設訪問（旅行会社・宿泊施設・観光施設・体験可能施設等）

viii. 営業支援、おもてなしメニュー等の設計

ア インセンティブ支援

- ・対応件数 10件（タイ3件, 台湾3件, 中国3件, ハワイ1件）

イ 営業支援（招請者アテンド）

- ・対応件数 6件（タイ2件, 台湾2件, シンガポール, マレーシア・インドネシア各1件）

ウ インセンティブツアー販促ツール制作

- ・インセンティブ支援メニューの策定・PR
- ・インセンティブ ツアーガイド ダイジェスト版（繁体字・タイ語・英語）制作
- ・インセンティブ専用ホームページ（日本語・英語・繁体字・タイ語）開設
（平成28年11月30日より公開）

ix. 台南市旅行代理店等の招請を中心としたプロモーション事業

ア 台南市を中心とする台湾南部地域の有力メディア招請

（平成28年11月8日（火）～12日（土））

- ・テレビ局2社, 新聞2社, 旅行専門雑誌2社, ブロガー, 台南市旅行商業同業公会
- ・紅葉スポットの研修, 帰国後それぞれのメディアで仙台・東北PR記事を掲載

イ 台南市を中心とする台湾南部地域に影響力のあるメディアの広告宣伝事業（12月）

- ・Webメディア4社, 新聞2社による仙台商品の告知

ウ 旅行エージェント招請（平成29年2月13日（月）～17日（金））

- ・旅行エージェント12社12名, 台南市政府3名
- ・冬（雪）スポットの研修, 商談会の実施, 帰国後来期に向けた商品造成と販売を実施

② 受入整備事業

海外からの旅行者が仙台に滞在中、快適に過ごすことができるよう、行政や民間企業と連携し環境整備を図った。

i. 訪日外国人客受入整備事業

訪日外国人旅行者の受入れ環境の整備強化を目的に、増加傾向にある台湾・中国からの旅行者の対応強化として、物産販売施設・飲食施設等を対象に訪日外国人観光客の受入セミナーを開催した。

ア 2016 訪日外国人観光客受入セミナー「接客中国語会話（台湾編）」

J R 東日本東北総合サービス株式会社仙台支店と連携・共催し、J R 仙台駅構内及び隣接商業ビル内の物産施設・飲食施設等の従業員を対象に開催した。

- ・第1回 平成28年7月19日（火）～7月22日（金）3講実施，延べ36名参加
- ・第2回 平成28年8月25日（木）～11月9日（水）3講実施，延べ45名参加
- ・第3回 平成28年10月18日（火）～10月21日（金）3講実施，延べ16名参加

イ 2017 仙台インバウンド受入体制向上セミナー

インバウンドの地域での受入体制に関するセミナーを賛助会員を対象に開催した。

- ・平成29年3月22日（水）実施，49名参加

(2) 国内プロモーション事業

行政及び民間企業等と連携し、仙台への来訪を促す各種事業を行うとともに、観光客の増加を図ることによって地域経済の活性化を目指し、各種事業を実施した。

① 観光行事等開催支援事業

仙台の観光振興の促進のため、地域観光行事等に対し協賛負担金を拠出し、観光促進を図った。

i. 観光行事等開催支援事業

仙台・青葉まつり、仙台七夕まつり、定禅寺ストリートジャズフェスティバル、SENDAI 光のページェント等の実行委員会と連携しお祭り・イベントの開催支援を行った。

② 観光キャンペーン等推進事業

集客効果が高く、且つ仙台のイメージアップにつながる観光関連企画やプロスポーツについて、貴重な観光資源としてこれらの事業と連携し、仙台の魅力づくりと誘客促進のための条件整備を行うとともに、当該事業推進により観光客の増大を図った。

i. 手ぶらで観光便事業

観光客の快適な旅のサポートを目的に、ヤマト運輸と連携し、市内中心部・秋保温泉・作並温泉・松島エリアの宿泊施設を対象に即日手荷物をお届けする有料サービスを実施した。

ii. おもてなし大作戦事業(※「すずのすけを探せ!!」情報発信事業)

仙台・青葉まつりの公式キャラクター青葉すずのすけが市内観光施設等を突撃訪問し観光客との記念撮影等でふれあいながら、「仙台・青葉まつり」や「仙台・宮城伊達な旅」夏キャンペーン等の観光情報発信を実施した。

iii. 観光ガイドと歩く「伊達な名所」巡り事業

ア 観光ボランティアガイドの活動促進を目的とした助成事業の実施

- ・6団体の事業に助成

イ 「観光ガイドと歩く伊達な名所巡り」の実施

- ・ 7月～9月の土・日・祝実施， 13， 590人案内
- ・ 実施箇所：瑞鳳殿， 仙台城址， 大崎八幡宮， 北山五山， 陸奥国分寺薬師堂

iv. 街角案内所事業

観光客の利便性を向上させるため，街角案内所23施設に対する定期的な情報提供とパンフレット類の提供（通年）を行った。

v. 旅行商品造成支援事業

首都圏からの誘客促進を目的に旅行会社商品パンフレットへの仙台の観光情報等の掲載を条件に，パンフレット作成費用の一部助成（年2回）を行った。全国展開を図っている旅行会社6社の上期商品（4月～9月），下期商品（10月～3月）の個人型企画商品を対象に実施。

vi. プロスポーツによる誘客

プロスポーツを活用した誘客，情報収集を目的に仙台プロスポーツネットと連携を図った。

vii. 観光誘致セールス事業

- ・ 平成28年4月7日（木）～4月8日（金）実施，商品企画造成部門7社及び旅行図書出版社1社訪問
- ・ 平成28年10月6日（木）～7日（金）実施，商品企画造成部門7社及び旅行図書出版社2社訪問

③ 教育旅行受入促進事業

仙台市内の教育旅行に対応できる関連施設（宿泊施設，博物館，工場等）と連絡・調整を行い，関連情報を把握，整理するとともに，本市の教育旅行に関する問合せや相談に関して，市内各施設の情報提供やコーディネートを行った。また，行政や民間企業等と連携し，他県におけるセールス活動の展開及び現地説明会を実施するなど，旅行会社や学校に対して総合的な誘致活動を行った。

i. 修学旅行誘致キャンペーン事業

ア 北海道からの中学校教育旅行誘致を目的に，現地プロモーションを仙台市，宮城県，宮城県観光誘致協議会と連携して実施

【札幌会場】

- ・ 平成28年11月28日（月）実施，旅行会社10社及び中学校9校参加

【函館会場】

- ・ 平成28年11月29日（火）実施，旅行会社5社参加及び中学校1校参加，セールス9校訪問

イ 東北観光推進機構「東北教育旅行誘致部会」と連携し，教育旅行誘致事業に参画

ウ 伊達な広域観光推進協議会と連携し，教育旅行説明会やセールス活動に参加

【首都圏旅行代理店等訪問】

- ・ 平成28年4月5日（火）～6日（水）実施，神奈川県，千葉県訪問

④ 観光客受入整備事業

仙台を訪れる観光客をホスピタリティ豊かに迎え入れることができるよう、仙台市内の周遊を促すためのパンフレット等の作成及び設置，受け入れ体制の整備・充実を図るための事業を行った。また、仙台の歴史や魅力を伝える「観光ボランティアガイド」を支援し、観光客の受入れ体制の強化を図った。さらに、観光客誘致支援団体等（東北観光推進機構，仙台まるごとパス運営協議会等）への会費負担を行うとともに、これらの組織と事業連携を図りながら観光客受入のための環境整備をすすめた。また、観光客を受け入れる上では、宿泊施設との連携も重要であることから、各宿泊関連施設と密接な情報交換ができるようネットワークの強化を行った。

i. クーポン付街歩きMAP事業

街歩き観光の推進と中心部の活性化事業を目的に市内中心部の飲食・お土産品販売店舗等の協賛と宿泊施設の協力により、宿泊のお客様を対象にクーポン付MAPの配布を行った。

・協賛店舗39社43店舗，配布先宿泊施設60施設

ii. 手ぶらで観光便事業（再掲）

iii. おもてなし大作戦事業（再掲）

iv. 観光ガイドと歩く「伊達な名所」巡り事業（再掲）

v. 街角案内所事業（再掲）

vi. 二次交通観光マップ作成事業

仙台空港，仙台駅を拠点とした市内及び広域エリア観光地等への二次交通案内マップを作成した。

vii. 他団体との連携による情報発信事業

スポーツコミッションせんだいへ参画し観光情報の発信及び受入環境の向上に向けた条件整備を行った。

viii. 事務局運営

仙台圏の二次交通商品である「仙台まるごとパス」と「るーぷる仙台」の宣伝・販売促進を目的に設立された「仙台まるごとパス運営協議会」並びに「仙台市観光シティループバス運行協議会」事務局の運営を行った。

ア 仙台まるごとパス運営協議会事務局運営

- ・リーフレット，ポスター，特典ブック等の製作と活用
- ・パス販売促進策の推進と広報宣伝の実施
- ・販売実績

期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
枚数	16,355枚（前年度比103.5%）

イ 仙台市観光シティループバス運行協議会事務局運営

- ・リーフレット等の製作と活用
- ・乗車実績向上にむけた広報宣伝の実施
- ・利用実績

期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
乗車人員	443,654名（前年度比106.7%）

(3) 仙台西部地区観光振興事業

仙台の観光振興にとって重要な観光資源を有する仙台西部地区への観光客誘致拡大を図るため、各種事業を展開した。

i. 「仙台西部観光振興推進協議会」及び「仙台西部観光振興推進連絡会」の運営

仙台西部地区の一体的な観光振興を図る上でのニーズ等を集約する観光事業者組織「仙台西部観光振興推進協議会」と、同協議会の協議内容等についての情報共有等を図る仙台市及び当協会の担当組織「仙台西部観光振興推進連絡会」の事務局運営を行った。

ii. 地域活性化支援事業

仙台西部地区で活動する団体が、観光振興の基盤強化や新たな観光資源の創出を目的に実施する事業に対して、経費の一部を助成し地域活動の促進と活性化を支援した。

秋保地区	8件	4,822,000円
作並・定義地区	4件	3,280,000円
泉西部地区	1件	1,000,000円
秋保, 作並・定義, 泉西部地区にまたがるもの	2件	4,440,000円
秋保, 作並・定義地区にまたがるもの	1件	314,000円

iii. 仙台西部地区観光振興ご用聞き事業

協会事務局職員が仙台西部地区内の観光事業者等と積極的に情報交換を図り、観光振興策の創出等に繋げた。

iv. 仙台西部地区広域マップ作成事業

仙台西部地区を網羅したクーポン付マップを作成配布し、観光客入込数増加を図った。

- ・印刷部数 10,000部

v. 外国人客対応力向上事業

秋保地区でのG7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議を契機として、せんだい留学生交流委員等の協力のもと、留学生等が外国人旅行者として温泉旅館を訪ね、旅館スタッフに外国語で様々な質問をすることで、旅館スタッフの外国人客対応力向上を図った。

- ・実施件数 64回
- ・実施旅館 8旅館（秋保6，作並2）
- ・派遣人数 延べ124名

vi. 仙台西部地区観光展

ア 仙台西部地区観光展（G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議に合わせて開催）

「G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議」参加者およびメディア向けエクスカースション対象施設となった秋保工芸の里において、平成28年5月19日（木）～21日（土）に仙台西部地区の観光パンフレット、こけし、ガラス製品、陶磁器、仙台箆笥等の展示を行い、仙台西部地区の魅力を発信する観光展を開催した。

イ 仙台西部地区観光展～森と水のゾーン ウェスト仙台～（仙台駅において開催）

仙台西部地区の観光事業者で実行委員会を組織し、平成29年3月12日（日）～13日（月）にJR仙台駅2Fコンコース南側にて実施した。

- ・仙台西部地区の観光施設の印刷物及び工芸品等の展示
- ・仙台里山ライド PR（マウンテンバイクと印刷物の展示・モニターによる体験型観光の映像紹介）

- ・西部地区の共通観光資源であるアルコール飲料の紹介
- ・来場者数 約10,000名(2日間)

vii. 仙台西部地区体験型観光資源開発事業

仙台西部地区の自然環境等の地域資源を活用した体験可能な観光メニューの紹介、モニターツアーの実施及びホームページ更新、チラシ等の作成による情報発信及び仙台西部地区体験型観光紹介サイト「仙台里山ライド」の問合せ機能の充実を図った。

① 秋保地区の観光振興に関する事業

仙台市秋保地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを実施するとともに、当該地域での魅力向上につながる企画を実施した。また、観光に関わる設備(街路灯・観光看板等)の管理を行い、観光客を適切に迎え入れる環境整備を実施した。これらの事業推進のため、地域と密接な情報交換を行う会議を定期的実施した。

i. 地域活性化支援事業(再掲)

ii. 秋保地区観光施設等管理事業

秋保温泉の案内誘導柱、街路灯施設及び観光こけし塔の修繕、維持管理等を行った。

iii. 磊々峡ライトアップ事業

秋保温泉街の活性化のため、新たな見所の創出として磊々峡ライトアップ企画を支援した。

- ・平成28年4月28日(木)～5月29日(日)まで毎日実施、5,128名来場

iv. 秋保温泉郷旅あるきマップ作成事業

秋保温泉郷内をウォーキングで楽しめるマップの情報を更新・作成し、秋保温泉の魅力情報を提供した。

v. 観光行事開催支援事業

下記観光行事の開催支援を行った。

- ・大東岳山開き 平成28年 5月29日(日)
- ・まつりだ秋保 平成28年10月30日(日)
- ・雪んこまつり 平成29年 2月12日(日)

② 作並・定義地区の観光振興に関する事業

仙台市作並・定義地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを実施するとともに、当該地域での魅力向上につながる企画を実施した。また観光に関わる設備(街路灯・観光看板等)の管理を行い、観光客を適切に迎え入れる環境整備を実施した。これらの事業推進のため、地域と密接な情報交換を行う会議を定期的実施した。

i. 地域活性化支援事業(再掲)

ii. 作並・定義地区観光施設等管理事業

作並・定義の街路灯施設を管理する団体へ負担金を支出した。観光看板・歓迎こけし塔、歓迎塔等の維持管理を行った。また作並温泉歓迎こけし塔周辺の除草や大倉ダム周辺の桜の剪定をし、環境整備を行った。

iii. 観光行事開催支援事業

下記観光行事の開催支援を行った。

- ・定義如来夏祭り 平成28年8月6日(土)
- ・ほっこり!さくなみ事業 平成29年2月11日(土), 12日(日)

iv. 作並・定義地区旅あるきマップ作成事業

作並・定義地区のマップを新たに作成し、同地区の魅力情報を提供した。

③ 泉西部地区の観光振興に関する事業

仙台市泉西部地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを実施するとともに、当該地域での魅力向上につながる企画を実施した。これらの事業推進のため、地域と密接な情報交換を行う会議を定期的実施した。

i. 地域活性化支援事業(再掲)

ii. 泉西部地区旅あるきマップ作成事業

泉西部地区をサイクリングや自動車で楽しめるマップを作成し、同地区の魅力情報を提供した。

(4) せんだい・宮城フィルムコミッション運営事業

映像作品を通じた地域振興・観光振興を目的に、映像製作者を対象に、ロケーション撮影に必要な支援の無償提供や、ロケ地に関する情報提供、撮影許認可の簡便化、市民エキストラの手配等を実施した。また支援した映像作品が公開・放映される際の宣伝活動を実施した。

① せんだい・宮城フィルムコミッション運営事業

i. ロケーション撮影誘致と支援業務

仙台・宮城オールロケ作品をはじめ、積極的な支援(ロケーション調整・エキストラボランティアの手配・宣伝支援等)を実施した。また、加盟団体であるジャパンフィルムコミッション主催の「第2回JFCアワード」において、当フィルムコミッションの映画作品への支援の取り組みが「優秀賞」を受賞した。

- ・映画「ReLIFE」
- ・映画「生きる街」
- ・タイドラマ「Rock Letter」, 他

ii. 地元ロケ作品の積極的なPR活動の展開

- ・映画「サバイバルファミリー」を活用した首都圏等プロモーションを実施
- ・映画「サバイバルファミリー」及び映画「ReLIFE」のロケ地マップ作成など

iii. 地域啓発事業

- ・支援作品パネル展の実施
- ・仙台短編映画祭2016への参画など

iv. 支援実績

- ・映画, TV番組, CM, 書籍等 支援件数165件(うち撮影実績75件, 前年比108%)

(5) 仙台・青葉まつり支援事業

仙台を代表する祭りの一つである仙台・青葉まつりについて、期間中の観光客拡大を目的に、仙台・青葉まつり協賛会事務局に関する業務のほか、伊達政宗公山鉾の巡行に関わる業務を実施した。また、青葉まつり開催に伴い、伊達政宗公の霊廟「瑞鳳殿」において、仙台の名品・工芸品を奉納し、且つ一定期間「瑞鳳殿資料館」において展示を実施した。

① 仙台・青葉まつり支援事業

i. 第32回仙台・青葉まつりの開催

- ・開催日 平成28年5月14日（土）・15日（日）
「祭囃子のそのなかへ」をテーマに実施し、2日間で約96万人の人出があった。宵まつりの復興祈願山鉾、及び本まつりの時代絵巻巡行において政宗公山鉾の運行を行った。

ii. 役員会の実施

- ・開催日 平成29年2月6日（月）
- ・内容 平成29年度第33回仙台青葉まつりの概要について協議・確認
 - *開催日 平成29年5月20日（土）・21日（日）
 - *実施方針 藩祖伊達政宗公生誕450年祭として盛大に実施

2. 物産振興に関する事業

仙台地域の伝統・文化の継承と発展に寄与することを目的に、仙台の物産品・名産品等のPR及び仙台の伝統工芸の後継者育成をはじめ、物産品・名産品等の販路拡大のための支援等を行った。仙台ならではの物産品、優れた技術をもって製作された伝統的工芸品等に関して、パンフレット、ポスターの作成及びWEB上でPRを行った。また、仙台の工芸品等について、展示会等の手段を通じ広く一般に公開される機会を提供し、仙台地域の伝統文化の理解促進を促した。

(1) 物産振興に関する事業

① 物産振興に関する事業

i. 伝統的工芸の後継者人材育成

ア 伝統工芸の後継者人材育成

伝統工芸工人後継者で結成している「匠の会」の工人が出店した「JR上野駅宮城産直市」への経費助成を行った。

- ・平成29年2月24日（金）～26日（日）JR上野駅中央改札外グランドコンコースにて開催

イ 技能功労者推薦の実施

長年にわたり同一業種に従事し、技術の練磨及び後進の育成に尽力するなど、本市の産業振興に寄与、または功績のあった技能者の推薦を行った。

- ・卓越した技能者厚生労働大臣表彰推薦 1名

ii. 物産関係団体との連携強化

ア 関係団体と連携を図り、賛助会員に対して情報発信及び周知を図った。

- ・連携先：5団体（仙台商工会議所、観光土産品公正取引協議会、宮城県物産振興協会、仙台箆笥協同組合、公益財団法人仙台市産業振興事業団）

- ・情報発信：12件

イ 仙台箆笥協同組合との「ツーリズム EXPO ジャパン2016」共同出展

- ・開催日：平成28年9月22日（木・祝）～25日（日）
- ・開催場所：東京ビックサイト
- ・内容：仙台箆笥と仙台市の観光PR
- ・来場者数：185,800人

iii. 伝統工芸品等の奉納と展示（奉納の会）

地場産業発展の礎を築いた政宗公に感謝の意を表し、今後、益々地場産業が繁栄することを祈念して瑞鳳殿にて開催した。46社が奉納。G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議開催を受け、展示期間を延長し、国外からの来訪者に向けて英語表記の展示も行った。

iv. 震災復興支援物産展の開催

東日本大震災以降、復興支援をいただいている全国の自治体や関係団体からの物産展への出展依頼に関し、賛助会員に周知並びに出展調整を行った。

ア 東北六魂祭2016青森

平成28年6月25日（土）～26日（日）青森県・青森市にて開催

イ 震災復興支援に係る物産展開催要請に対する対応

対応件数 7件

v. 物産パンフレットの作成と活用

物産関連賛助会員の商品について、県内外に発信することを目的に、観光プロモーションと連動した活用を行った。

ア 物産パンフレット「仙台の銘品ガイド」の増刷

増刷部数：60,000部

イ マスコミ対応

和風総本家（テレビ大阪）職人の推薦の協力（11月）

つつみのおひなっこや 佐藤明彦氏（堤人形）、本郷だるま屋 本郷久孝氏（仙台張子）、埋木細工 小竹孝氏（埋木細工）、竿政竹竿製造店 田村 政孝氏（仙台釣竿）を紹介

ウ 「東北美人へ変身する旅」企画商品参画者募集に関する情報提供

- ・参画者：有限会社東北工芸製作所、合同会社メリーメリークリスマスランド

vi. 物産強化事業

異業種団体とのコラボレーションによる販売チャンネルの開発や情報発信の他、これまでの展開にとらわれない新作展示発表会等を開催した。また、物産振興懇談会を開催し、外部有識者から多面的にご意見をいただき、今後の取組むべき物産振興策について検討した。

- ア 仙台・宮城の伝統的工芸品展示会及び発表会
 - ・ 2017 仙台市工芸展／AER 工芸ウィークの開催
平成29年3月1日（水）～14日（火）
丸善仙台アエル店・AERIF アトリウムにて開催
- イ 姉妹都市等への物産品PR
実施件数 3件
- ウ 物産品プロモーション事業として「Sendai Souvenir Guidebook（英語版仙台お土産ガイド）」を新たに作成
 - ・ G7 仙台財務大臣・中央銀行総裁会議の参加者に配布した他、インバウンド客の多い市内宿泊施設・飲食店に提供
 - ・ 作成部数：20,000部
- エ 物産展等出展助成事業
実施件数 1件
- オ 物産振興懇談会の開催
 - 第1回 平成28年 9月 6日（水）
 - 第2回 平成28年10月12日（水）
 - 第3回 平成28年11月14日（水）
 - 第4回 平成29年 1月24日（火）

3. コンベンション推進に関する事業

当協会が蓄積してきたネットワークや知識・情報を有効に活用し、コンベンションの情報収集・誘致・支援といった一連の事業に取り組み、仙台市及びその周辺地域の発展と活性化を図った。

(1) コンベンション誘致・支援支援

① コンベンション助成事業

仙台市内で開催される国際・国内会議の誘致を促すと共に、コンベンションの円滑な運営と成功に寄与することを目的に、コンベンション主催者を対象に、開催助成、シャトルバス運営助成、開催準備資金貸付等を行った。

項目	件数
開催助成金(国際会議, 全国会議)	38件
開催助成金(小規模国際会議)	8件
シャトルバス運営助成	4件
開催準備資金貸付	3件

② コンベンション誘致事業

学会や大会の事務局やキーパーソンなどに対して仙台でコンベンションを開催するメリットなどを宣伝するセールス活動及び招請活動を行うことや、IME（国際ミーティングエキスポ）に出展し、仙台の魅力をPRすることでコンベンションの誘致拡大を図った。また、仙台市内の大学等を訪問し情報収集を行うほか、招請活動においては主催者の仙台への来訪費用一部を助成するなどの事業を展開し、コンベンション関連団体と連携して誘致活動を積極的に実施した。

i. 国際会議に重点を置いたコンベンション誘致セールス

仙台開催の可能性を有する国際会議関係者への誘致活動及び情報収集を行った。

- ・国内：7回（5月，7月，8月，10月，11月，12月，3月）
- ・海外：1回（4月 ドイツ）

ii. ICCA（国際会議協会）加入による国際会議誘致情報の収集

マレーシアのクチンで開催されたICCA（国際会議協会）総会に初めて参加し，国際会議関係者とのネットワークの構築を行った。

iii. IMEX（国際MICE見本市）出展による仙台PR

ドイツで開催された世界最大の国際コンベンション見本市（IMEX Frankfurt）に出展し，仙台の会議開催環境の広報及び誘致活動を行った。

- ・出展：1回（4月 フランクフルト）

iv. IME（国際ミーティング・エキスポ）出展・商談

国内最大のコンベンション見本市（IME）に出展し，仙台のPR及び誘致活動を行った。

- ・開催日 平成28年12月6日（水）～7日（木）
 - ・場所 パシフィコ横浜
 - ・主催 観光庁，JNTO（日本政府観光局），JCCB（日本コンベンション・コンGRESS・ビューロー）
- 会場が昨年度までの東京国際フォーラムからパシフィコ横浜に変更となったことにより，全体的に来場者数が減少した。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
仙台ブース来訪者数	328人	338人	197人
商談会件数	77件	40件	32件

v. コンベンション主催者招請の実施

海外の国際会議キーパーソンを仙台に招聘し，仙台の紹介及び会議開催環境のPRを実施した。

- ・JNTO主催国際会議海外キーパーソン招請事業への参加
- 3月に仙台へ2団体を招請し，その後東京にて6団体と商談会を実施した。

vi. 東北地区コンベンション合同誘致セミナーによる会議情報収集と商談

東北地区及び中国四国地区のコンベンション推進協議会主催の合同誘致懇談会に出展した。

- ・開催日 平成29年1月31日（火）
- ・場所 東京・都市センターホテル
- ・全体来場者数 131人
- ・仙台ブース来訪者 37人
- ・商談件数 15件

vii. 東北各県での学会誘致セールスの実施

東北他県の大学やコンベンション関係団体を訪問し，仙台での会議開催の営業を行った。

- ・実施：2回（8月，1月）

viii. 東北大学キーパーソンへの誘致セールス

国際会議開催の可能性のある東北大学の教授などを訪問し，当協会の支援内容の説明を行った。

- ・実施：78回

ix. 国際会議主催者との意見交換会・開催支援セミナーの開催

東北医科薬科大学での意見交換会セミナーの取り組みを行った。

x. メールマガジン（仙台コンベンションニュース）の発信

仙台のコンベンション関係情報として、当協会の事業の報告及び仙台市、仙台国際センターの情報も併載したメールマガジンの発信を行った。

- ・定例的な発信：6回
- ・臨時的な発信：3回

xi. 仙台開催に相応な国際会議情報の収集及び誘致活動

I C C Aデータベース等を活用した情報収集、及びI M E X、I M E等展示会での情報収集誘致活動を行った。

xii. グローバルM I C E強化事業

観光庁から選定されたグローバルMICE強化都市としての自立、強化を目的とした教育やアドバイス等の支援受入を行った。

【アドバイザーの派遣】

- ・派遣：3回（6月、10月、1月）／専門知識と国際ネットワークを有する会社からの派遣、地元ステークホルダーを交えたワークショップと講義
- ・集合型：1回（3月）／業界セミナーと事業報告会
- ・リモート：遠隔システムによる教育指導

③ コンベンション支援事業

仙台で開催されるコンベンションに対し、その開催に必要な助言・サポート及び仙台紹介のためのツールの提供など、事前準備段階から開催まで様々な支援・サービスを実施し、コンベンションの円滑な運営と成功に寄与し開催件数増加につなげた。また、コンベンションボランティアについては育成・派遣を行うなど、仙台でのおもてなしの向上を図った。

i. 国際会議学生ボランティア育成に向けた研修会の実施

学生ボランティアのレベルアップを目的とし、語学やマナーなどの研修を行った。

- ・語学研修会「英語でディスカッション」 計3回実施
- ・スペシャルサポーター研修会 計4回実施

ii. 仙台コンベンション施設ガイドの作成

コンベンション施設の最新情報を掲載した冊子を作成した。

iii. 国際会議学生ボランティア派遣事業

国際会議のホスピタリティデスクや案内対応として学生ボランティアを会場に派遣した。

- ・派遣件数 5件

iv. コンベンションウエルカムボードの掲出

国際会議、全国会議を対象にJ R仙台駅2階のウエルカムボードに歓迎表示を行った。

- ・掲出件数 上期：47件、下期：61件、年間：108件

v. コンベンション誘致・支援ツール作成

パンフレット等，コンベンション誘致や支援のツールを作成した。

- ・コンベンションバッグ
- ・大会・会議かんたんマニュアル
- ・仙台コンベンション施設ガイド（日・英）
- ・仙台コンベンションおもてなしガイド
- ・仙台コンベンション開催業務サポーター
- ・文化観光施設割引券
- ・各種支援のご案内

vi. 国際会議支援メニュー（アトラクション，エクスカーション，体験プラン）の提供

国際会議において，アトラクション等，おもてなしメニューの提供を行った。

- ・「仙台国際会議おもてなしメニュー」の提供：国際会議7件

vii. MICEサポートセンター事業

コンベンション等 MICE 受入の環境改善を目的とした各種情報の収集，セミナーの開催を行った。また，アプリ等開催支援ツールの提供を行った。

ア 主催者支援

- ・ユニークベニュー・アトラクション等の映像 DVD の提供
- ・コンベンション参加者向けアプリ「スペンディングタイム仙台」の提供
- ・西部地区二次交通支援
- ・国際会議情報の海外発信
- ・立候補提案書類（ビッドペーパー）の作成
- ・JR 仙台駅を基点とする距離別宿泊施設マップ・リストの作成

イ 受入環境レベルアップセミナー開催

- ・ステークホルダー，賛助会員に向けたセミナー開催（5回）

	開催日	参加者数	内容
第1回	7月27日（水）	82名	講演「第80回日本循環器学会」の成功例のご紹介と学会主催者が仙台の企業に求めること
第2回	10月5日（水）	54名	講演「MICEをいかにビジネスに結びつけるか」
第3回	11月30日（水）	49名	講演「地域MICEビジネスを考える—札幌の取り組み事例から」
第4回	2月3日（金）	24名	グループワーク「MICE誘致企画書の作成1」
第5回	3月2日（木）	26名	グループワーク「MICE誘致企画書の作成2」

viii. MICE開催受入環境情報発信事業

ホームページ等での情報発信，IME等展示会での紹介を行った。

ix. 国際会議ボランティアシンポジウム開催

語学ボランティアのレベルアップを目的としたシンポジウムを開催した。

- ・開催日 平成28年11月6日（日）
- ・場所 仙台国際センター

x. 地震工学会ロビー活動支援事業

平成29年1月，南米チリ・サンティアゴで開催された「第16回世界地震工学会議」において，次回平成32年の「第17回世界地震工学会議」の誘致支援を行い，仙台開催が決定した。

平成32年仙台開催の概要

- ・日 程 平成32年（2020年）9月14～18日
- ・会 場 仙台国際センター，東北大学川内萩ホール等
- ・参加人数 約3,000名（海外：1,500名，日本：1,500名）
- ・参加国数 約80カ国

xi. 関連する翻訳業務の強化

国際会議誘致用ビッドペーパー，展示会出展時のパンフレット，海外専門誌への広告掲載等において，正確かつ効果的なネイティブ翻訳による広報を実施した。

4. 多文化共生・国際交流に関する事業

言葉や習慣などの異なる外国人市民が，自らの個性を活かしながら，地域の一員として活躍できる多文化共生社会の形成を目指し，各種事業を実施した。また，国際交流や国際理解などに関する各種事業を実施し，活力ある地域づくりを行った。

（1）外国人市民支援

① 日本語学習支援

生活に必要な日本語の習得を目的として，市民団体や関係機関との協働により，外国人市民のための日本語講座等を開催した。また，マンツーマンで日本語学習を支援する日本語ボランティアの研修及び活動支援を行った。

i. 日本語講座の開催

生活に必要な日本語の学習を支援するため，市民センターや市民団体との協働により日本語講座を開講した。

ア せんだい日本語講座

前期：4月～9月／後期：10月～3月開講，前期110名／後期135名受講

イ 日本語ティールーム（託児付き）

4月～3月開講，53名受講

ウ さっと日本語クラブ（小中学生対象）

5月～3月開講，42名受講

エ その他の日本語学習支援団体に対する広報及び活動費の支援

- ・外国人の子ども・サポートの会
- ・にほんごのもり
- ・泉日本語サロン
- ・茂庭台日本語サロン
- ・日本語ボランティアサークル HANDS

ii. 日本語ボランティアの活動支援

日本語ボランティア入門講座の修了生等を登録し，日本語学習を希望する外国人市民に随時，紹介を行った。

ア 日本語ボランティアの登録と紹介

登録者数307名，紹介実績31件

イ 研修会の実施

平成28年6月18日（土）実施，54名参加

「文法から伸ばす日本語って？『TRY!』シリーズを使ってみよう」

亀山稔史氏（ABK 日本語学校講師）

平成28年8月27日（土）実施，29名参加

「すぐ使える！生教材の活用法」氏家洋子氏，津田宏氏（NPO 法人アイカス講師）

iii. 日本語弁論大会の開催

仙台に在住または通勤・通学している外国人による日本語弁論大会を開催した。市内の日本語講座受講生の学習成果発表の場として位置づけるとともに，外国人市民の意見を市民が聞き，理解を深める機会とした。弁論集を作成し，公開した。

平成28年10月10日（月・祝）実施，6名（4か国）出場，約100名来場

② 生活支援事業

外国人市民が，交通安全や防災，文化・習慣など日本での生活に必要なことについて学び，地域で安心・安全に暮らすためのオリエンテーション等を実施した。さらに，生活に必要な情報の翻訳と広報を行った。言語や習慣等の違いから学校生活や進学に困難を抱える外国につながる子どもとその家族を支援するため，ガイダンスや学習教室の開催，情報提供等を行った。

i. 生活オリエンテーションの開催

外国人市民が自国と日本のルールやマナー等の違いを知り，安心・快適に暮らせるためのオリエンテーションを日本語講座の一環として開催した他，依頼に応じて大学や日本語学校等への出前講座も実施した。

ア せんだい日本語講座「にほんごカフェ」

4月～2月（全4回）実施，延べ97名参加

ハザードマップ，税金，救命救急，病院について

イ 出前講座

通年13回実施，988名参加

日本の習慣・マナー，交通安全，ゴミ分別，防災，救命救急について

ii. 生活情報の多言語化

外国人市民の生活に必要な情報を，行政や市民団体の協力を得ながら多言語に翻訳，広報した。

ア 仙台生活便利帳「ごみの出し方」翻訳（ネパール語）

イ 「資源とごみの分け方・出し方」翻訳チェック（ベトナム語）

ウ 「自転車の乗り方ルール」翻訳（ベトナム語，ネパール語，やさしい日本語）

エ 「保育所での会話集」作成・翻訳（英語，中国語，韓国語，全て日本語併記）

オ 「片平地区防災行動マップ 英語版」作成協力，翻訳チェック（英語）

カ 「大窪谷地町内会資料」翻訳（英語，中国語，韓国語，ベトナム語，ネパール語）

iii. FMラジオ多言語放送

季節の話題や生活情報，イベント情報などを FM ラジオ3局の協力を得て多言語で放送した。

5週目がある月には日本語で協会事業の報告を行った。

・放送日 言語ごと月1回15分間放送

・内容 生活情報，イベント情報等

- ・言語 英語，中国語，韓国語，やさしい日本語
- ・協力 エフエムたいはく，fmいずみ，ラジオ3

iv. 外国につながる子ども支援

言葉，文化，習慣等の違いにより困難を抱えている子どもを支援するために，市民団体等と連携して「進路ガイダンス」や「夏休み教室」を行った。

- ア 日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス2016宮城
平成28年7月23日（土）実施，子どもと親25組41名参加
高校進学に関する説明，教員からのアドバイス，進路相談等
- イ 日本語を母語としない子どものための夏休み教室
平成28年7月26日（火）～29日（金）実施，
外国につながる子ども 延べ47名，支援協力者 延べ59名参加
教科学習及び日本語学習
- ウ 外国人児童と家族のための小学校入学準備講座
平成29年3月1日（水）実施，外国人保護者6名，関係者2名参加
小学校入学に関する説明，教員からのアドバイス，相談等

v. 防災啓発

外国人市民の防災意識を高めるとともに，災害時の外国人市民支援を円滑に行うため，多言語による防災情報の発信を行った。また，防災・災害時支援における市民協働を推進した。

- ア 外国人市民のための防災教室
平成28年5月28日（土）実施，
外国人市民・災害時言語ボランティア・留学生交流委員等 75名参加
- イ 町内会と連携した防災訓練
 - ・国見地区東部ブロック6町内会
平成28年10月29日（土）実施，外国人市民参加者数20名
 - ・片平地区総合防災訓練
平成28年10月30日（日）実施，外国人市民参加者数31名
- ウ Datefm防災番組「Sunday Morning Wave」への協力
 - ・放送日 毎月第2日曜日
 - ・番組名 防災情報番組 Sunday Morning Wave 内「Global Talk」コーナー
 - ・内容 日本語によるトーク及び母語による防災ワンポイントアドバイス

vi. 留学生就職活動支援

留学生が仙台・宮城で就職し，地域の人材として活躍できるよう，留学生受入専門学校との協力により地元企業による業界セミナーを開催するとともに，関係機関との情報共有を図った。

- ア 業界セミナー「ICTサービス事業について」
 - ・開催日 平成29年1月23日（月）
 - ・会場 学校法人日本コンピュータ学園 東北電子専門学校
 - ・講師 株式会社百戦錬磨 システム開発部 三浦高広氏
 - ・参加者数 同校の外国人留学生 約120名

イ 業界セミナー「飲食業界について」

- ・開催日 平成29年1月25日（水）
- ・会場 学校法人菅原学園 専門学校デジタルアーツ仙台
- ・講師 株式会社ストロベリーコーンズ統括事業部 中村直人氏
- ・参加者数 同校の外国人留学生 約100名

vii. 留学生リサイクル自転車斡旋

留学生の生活支援を図るため、SENDAI 留学生自転車リサイクル事業推進協議会と協力して、リサイクル自転車の斡旋を行った。併せて、平成27年度に当協会が作成した「交通安全DVD」の視聴による交通安全教室を開催した。

平成28年4月17日（日）実施、販売台数30台（購入希望者62名）

viii. 日本文化体験

外国人市民の日本理解の一助となるよう、日本の伝統文化を体験・学習する機会として「七夕交流会」を実施した。

- ・開催日 平成28年7月10日（日）
- ・場所 仙台国際センター
- ・内容 抹茶席，煎茶席，生け花，書道，折り紙，着付け等の日本文化体験，日本語レッスン体験，昔遊び等
- ・参加者数 164名

（2）災害時の外国人支援

① 災害多言語支援センター運営

大規模災害発生時、外国人市民や旅行者など、言葉や習慣等の違いから情報が入手しにくく支援が受けられない恐れがある外国人を支援するために仙台市が設置する「災害多言語支援センター」を運営するための訓練を行うとともに、外国語での情報提供や相談対応を行った。

i. 多言語支援センター設置運営訓練

- ・開催日 平成29年1月25日（水）休館日
- ・場所 仙台国際センター
- ・参加者数 32名（協会及び仙台市職員，関係機関職員等）
- ・内容 活動内容について，グループワーク

ii. 災害時外国人旅行者支援に関する検討会

- ・開催日 平成29年1月12日（木）
- ・場所 仙台市役所本庁舎4階 文化観光局第1会議室
- ・参加者 仙台市（交通政策課，危機管理課，減災推進課，広報課，観光課，誘客戦略推進課，交流企画課）及び協会

iii. 津波注意報・警報発令における多言語情報の発信

- ・期間 平成28年11月22日（火）
- ・方法 フェイスブック，ツイッター，FMラジオ放送

② 災害時言語ボランティア育成

大規模災害発生時に外国人被災者の支援を行う市民ボランティアを「災害時言語ボランティア」として募集し、研修を行った。

i. 登録

登録者数 66 名，対応言語 18 言語

ii. 研修会，訓練

- ア 外国人市民のための防災教室での通訳・訓練補助
平成 28 年 5 月 16 日（土）実施，12 名参加
- イ 市民センターと連携した防災教室での通訳補助
平成 28 年 10 月 22 日（土）実施，5 名参加
- ウ 町内会と連携した防災訓練での通訳・訓練補助
平成 28 年 10 月 29 日（土）及び 10 月 30 日（日）実施，18 名参加
- エ 仙台防災未来フォーラム 2017 でのブース運営補助
平成 29 年 3 月 12 日（日）実施，4 名参加

(3) 地域づくり支援

① 地域づくり支援事業

市民が自主的に行う国際交流，国際協力，多文化共生に関する活動に対して補助金の交付を行った。多文化共生社会の形成を目指して，外国人市民の状況や多文化共生について考える講座やイベントを開催した。

i. 市民活動助成

市民の自主的な国際交流活動の促進を図るため，事業経費の一部を補助した。

補助金交付

14 件 774,000 円

ii. 国際フェスティバルの開催

市民による実行委員会を組織して国際交流，国際協力，多文化共生等の活動を行う市民団体等が参加するイベント（せんだい地球フェスタ）を開催した。

- ・テーマ 「ちがうって おもしろい Celebrate our differences!」
- ・開催日 平成 28 年 10 月 10 日（月祝）
- ・場所 仙台国際センター展示棟
- ・内容 団体活動紹介，ステージ発表，世界の文化体験，開発教育ワークショップ体験，等ドキュメンタリー映画上映等
- ・来場者数 約 7,500 名
- ・参加団体 62 団体
- ・ボランティア 111 名

iii. 多文化共生講座の開催

ア 外国人市民対応研修

区役所の窓口担当職員を対象とした研修会を実施した。

平成 29 年 1 月 13 日（太白区），2 月 23 日（青葉区） 計 34 名参加

イ 外国人市民に関する庁内情報交換会

平成29年2月27日（月）

参加：広報課，市民税企画課，区政課，自転車交通安全課，保険年金課，健康安全課，
廃棄物管理課，市営住宅管理課，学事課，教育指導課，交流企画課）

ウ 保健福祉センター管理課職員研修「留学生に対する結核対策と支援のための基礎知識」

平成29年3月14日（火）20名参加

（４）人材育成事業

① 人材育成事業

学校や市民センターなどが実施する国際理解講座に対し，外国人市民等の講師紹介や内容に関してのアドバイスをを行った。次世代を担う青少年を対象に地球規模の課題や地域の課題について考える講座を開催した。また，国際交流や外国人支援に意欲のある外国人留学生をせんだい留学生交流委員として委嘱し，各種事業への協力を得るとともに，地域における交流活動を積極的に行った。

i. 国際理解推進

学校や市民センター等が実施する国際理解推進事業に対して，人材紹介や情報提供，参加型学習実施の支援を行った。

人材の登録と派遣

- ・登録者数 94名（29の国と地域）
- ・派遣件数 56件（小学校29件，中学校4件，高校4件，市民センター等9件，
児童館8件，保育所2件）
- ・派遣講師数 111名
- ・参加者数 4,003名

ii. せんだい留学生交流委員

仙台市在住の留学生に「せんだい留学生交流委員」を委嘱し，地域の国際交流及び外国人市民支援の活動を行った。交流委員には月額2万円の奨励金を支給し，活動の経済的支援とした。

- ・人数 前期20名，後期20名
- ・活動内容 各種講座・ラジオ出演等，協会事業への協力，仙台市事業への協力

iii. 地球市民育成

一般市民を対象として，持続可能な社会を目指して世界の諸問題について考え，行動するきっかけをつくるためのイベント運営を行った。

- ・開催日 平成28年6月4日（土），6月10日（金），6月18日（土），
6月24日（金），7月2日（土）

※番外編（JICA 東北との共催）11月23日（水・祝）

- ・場所 国際センター駅2階「青葉の風テラス」
- ・参加者数 各回20名程度 ※11月23日は60名程度
- ・内容 せんだい留学生交流委員のトーク・交流会，ワークショップ（開発教育，多文化防災），外国につながる子どもたちに関する講演会，パラグアイに関する講演・演奏

(5) 国際交流事業

① 派遣・受入事業

国際姉妹友好都市等から訪れる市民団や青少年団の受入等の事業により、市民の国際交流活動を促進した。

i. 市民団交流

ア 第26回仙台国際ハーフマラソン大会 国際姉妹都市等交流会

- ・開催日 平成28年5月8日(日)
- ・場所 江陽グランドホテル 銀河の間
- ・参加者数 213名(選手団含む)

イ アカブルコ市民団(日本のともだち協会)来仙

- ・受入期間 平成29年3月17日(金)～18日(土)
- ・受入人数 17名
- ・内容 市役所表敬, 市内見学など

ウ ホストファミリーボランティア

- ・登録者数 47家庭
- ・内容 ダラス青少年訪問団受入を行った他, 仙台育英高校, (公財)日本国際生活体験協会からの依頼によりホストファミリーを紹介した。

ii. 青少年交流

国際友好都市ダラス市から高校生を受入れ, 学校訪問やホームステイ等を通して, 市民交流を行った。

- ・受入期間 平成28年6月28日(火)～7月5日(月)8泊9日
- ・受入人数 7名(高校生6名, 同行者1名)
- ・受入内容 市役所表敬, 学校訪問, 特別養護老人ホーム訪問, 蕎麦打ち体験, 大学キャンパスツアー, 東北日米協会訪問, 七ヶ浜被災地区, 松島見学など

5. 調査・研究・広報・情報発信に関する事業

仙台的観光及びコンベンション並びに多文化共生に関する調査・研究広報・情報発信を行うことにより, 各事業推進に役立てるとともに, 地域における各活動に寄与することで, 活力ある都市づくりに資することを目的に記載する事業を行った。

(1) 調査・研究・広報事業

① 観光・コンベンション等に関する調査研究広報事業

コンベンション開催団体へのアンケート調査を実施し, その内容について分析・集約した情報を行政及び仙台市内の関連団体で共有し, コンベンション等受入のための意識向上を図った。また各種大会のデータを集約, 分析し, コンベンション誘致活動に活かした。

i. コンベンション関係者会議開催と訪問による開催情報の収集

会議施設やホテル等のコンベンション施設関係者及びコンベンション開催業務サポーターとコンベンション受入関係に関する意見交換を行った。

ア コンベンション施設関係者会議

- ・開催日 平成28年6月8日(水)
- ・参加者数 15施設18名及び仙台市

イ コンベンション開催業務サポーター情報交換会開催

- ・開催日 平成28年6月9日(木)
- ・参加者数 18名

ii. コンベンションカレンダーの作成と情報発信

仙台のコンベンション開催情報の提供を目的としたカレンダーを作成し、関係者へ提供した。
年2回作成・配布(実施時期:9月,3月)

iii. JCCB・JNTO関係への会議・研修参加

国際会議等コンベンション情報の収集を目的とし、JCCB及びJNTO事業への参加・協力を
行った。

ア JNTOへの国際会議開催情報の収集と実績情報の提供

イ JCCB事業(総会,ビューロー部会,人材育成研修会)への参加

iv. 東北地区コンベンション推進協議会の事務局として総会・研修会を運営

東北全体でのコンベンション活性化を目的とし、東北地区コンベンション推進協議会の運営,事
業に参加した。

・総会 開催日:平成28年8月25日(木) 開催地:山形県 鶴岡市

・研修会 開催日:平成28年10月27日(木) 開催地:福島県 福島市

v. コンベンションアンケート調査を国際会議,国内大型会議にて実施

仙台の会議環境の客観的評価調査のため会議参加者へアンケートを実施した。

ア アンケート調査 実施回数:2回(国際会議1回,国内大型会議1回)

イ 報告書配布 賛助会員にコンベンションカレンダーと合わせて3月配布

vi. データベースシステムによるコンベンション情報の管理

コンベンション開催状況,及び営業用情報の把握のため,データシステムの運用を行った。

コンベンション開催データ,主催者データの整備(通年)

vii. データ集約並びに統計の作成及び誘致戦略への反映

コンベンション開催データの調査集計,開催動向の把握を行った。

viii. ホテルにおける会議開催情報の調査・収集

仙台市内各ホテルより会議開催情報の収集を行った。

ix. 観光コンベンションセミナー開催事業

「G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議」の1ヶ月前記念イベントとして「G7トーク~サミッ
ト参加国出身者と一緒に考えるおもてなし」を開催した。

・開催日 平成28年4月20日(水)

・場所 第1部 G7トーク 仙台国際センター 会議棟 橘

第2部 賛助会員交流会 仙台国際センター 展示棟 会議室1,2

・参加者数 第1部 G7トーク 157名(市民及び賛助会員)

第2部 賛助会員交流会 86名

② 多文化共生等に関する調査研究広報事業

多文化共生社会の形成及び国際交流や国際理解などに関する様々な事業を推進するため、地域の現状及び各種課題に関する調査・研究を行った。また、市民の理解促進を図るための広報事業を行った。

i. 多文化共生等に関する調査研究

多文化共生等にかかる現状や課題について情報収集するとともに、各種協議会や研修会への参加を通して関係機関とのネットワーク構築を図った。

- ・東北・北海道国際化協会連絡協議会、研修会（山形・宮城）
- ・開発教育協会全国研究会（東京）
- ・文化庁主催日本語教育大会（東京）
- ・多文化共生マネージャー養成コース（滋賀）

ii. 多文化共生等に関する広報

広報紙、メールマガジン、ホームページ運営等を通して協会事業や市民団体の活動紹介を行う他、防災や多文化共生事業について外部からの依頼により職員を講師として派遣した。

- ア 「交流コーナーだより」の発行
2, 500部/月1回発行（日本語）
- イ 「外国人市民向け情報誌 Sendai Lifestyle」の発行
2, 000部/年4回発行（日本語、英語、中国語、韓国語）
- ウ 「まちなか多文化かわらばん」の発行
3, 000部/2号発行（日本語）
- エ 「国際化事業部ホームページ」の運営
ブログ、facebook、twitter（日本語、英語、中国語、韓国語）
- オ 「メールマガジン SenTIA メール」の配信
月3, 4回程度発行（日本語、英語、中国語、韓国語）
1, 869名登録（日本語1, 049名、英語696名、中国語75名、韓国語49名）
- カ 事業広報等のための講師派遣
派遣回数：22回、内容：防災・多文化共生について

③ 専門委員会調査研究事業

各事業の推進及び活性化を目的に、各専門委員会を設置し、外部有識者等からの意見・提言をいただき、各事業に活かした。

- i. 観光専門委員会 平成28年7月28日（木）実施、10名参加
同 宿泊部会 第1回：平成28年10月19日（水）実施、5名参加
第2回：平成28年12月7日（水）実施、6名参加
第3回：平成29年1月25日（水）実施、6名参加
- ii. コンベンション推進専門委員会 第1回：平成28年8月23日（火）実施、11名参加
第2回：平成29年2月10日（金）実施、10名参加
- iii. 物産専門委員会 平成28年7月27日（水）実施、11名参加
同 工芸部会 平成28年9月28日（水）実施、4名参加
- iv. 国際化専門委員会 第1回：平成28年6月24日（金）実施、6名参加
第2回：平成29年3月15日（水）実施、8名参加

(2) 情報発信事業

① 情報発信事業

国内外からの旅行者を誘致するために、仙台の最新の観光情報やイベント情報等を広く国内外に向けて情報発信した。また、多文化共生社会の形成を目的として、外国人市民の声や地域の現状等を各種媒体にて広く発信した。その他、当協会の機関紙を定期的に発行することで、当協会の事業活動内容を広く周知した。

i. 観光宣伝パンフレット作成

- ・仙台観光マップの作成配布
配布数 353,624部(前年比89.1%)
- ・仙台シティマップの作成配布
配布数 38,905部(前年比123.6%)

ii. 二次交通マップ作成(再掲)

iii. 多言語版観光宣伝パンフレット作成

仙台エリアの外国語観光マップを英語、繁体字、簡体字、ハングルの4言語で作成した。

iv. 仙台シティマップ増刷

- ・増刷部数：英語版 20,000部
簡体字版 5,000部
繁体字版 5,000部
韓国語版 5,000部

v. 仙台市公式観光webサイト「せんだい旅日和」の活用による観光情報の発信

仙台市の観光、イベント情報、関連する役立ち情報等を紹介するWebサイトの運営、管理を行った。

- ・総アクセス件数 年間1,384,581件
- ・総ページビュー数 年間3,998,256ページビュー数

vi. 機関紙発行

協会の概要や、各部の主な事業を紹介するため機関紙や、より詳細な事業のまとめとして3カ月毎の事業概況を作成した。

- ・協会機関紙の発行(年4回発行)
5号 3,000部、6・7・8号 各1,000部発行
- ・3ヶ月毎事業概況の発行
- ・賛助会員名簿の発行

vii. 留学生等との協働による情報発信

5月に「G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議」が開催されるにあたって実施されたマスコミや関係者向けのスタディーツアーに、仙台に在住する留学生に参加を呼びかけた。留学生はスタディーツアーに参加し、その感想などを日本語・英語で作成し当協会のFacebookなどを通じて情報発信を行った。また、「仙台・青葉まつり」や「楽天”International Party”」など、地域で開催される祭りやイベントにも参加し、日本語・英語で情報発信を行った。

- ア 学生による情報の発信
 - ・情報発信 24件
 - ・言語 日本語, 英語
- イ 仙台サポーターの委嘱
 - ・新規委嘱 9名 (延べ人数108名)

viii. 首都圏案内所等での情報発信事業

仙台のパンレットやプロモーションDVD等を東京駅に隣接する観光案内所「TIC TOKYO」にて配布, 放映し, PRを行った。

6. 情報提供・交流促進に関する事業

地域の観光の発展と国際交流活動の促進を図り, もって地域社会の健全な発展を実現するための事業を行った。

(1) 観光情報施設の運営

① 仙台市観光情報センター運営事業

仙台・宮城はもとより東北に訪れる観光客等を対象に, JR仙台駅において市内観光情報や東北広域情報の提供および相談案内を実施した。

- ・利用実績

	年間利用実績 (4月～3月)
日本人	154,935名 (前年度比 58.5%)
外国人	13,112名 (前年度比 112.6%)
計	168,047名 (前年度比 60.8%)

② 仙台市作並・定義地区観光案内所運営事業

仙台市作並・定義地区の観光地や物産及び宿泊施設等を紹介することを目的に, 当該地区を訪れる観光客を対象に, 仙台市作並・定義地区観光案内所運営を実施した。

- ・利用実績 (窓口案内・電話問合せ含む)

年間利用実績 (4月～3月)
21,257件 (前年度比 82.0%)

(2) 国際交流拠点施設の運営

① 国際センター交流コーナー運営

仙台国際センター内の「交流コーナー」を運営し, 国際交流や多文化共生の地域づくりに関わる市民に活動や学びの場を提供するとともに, 幅広い交流の機会やにぎわいの場を創出した。また, 生活及び地域の観光に関する情報を収集し, 外国人市民, 旅行者, 国際センター来場者等へ多言語での情報提供を行った。さらに, 関係機関や市民ボランティア等と連携して多言語による各種相談を行った。

i. 交流コーナー運営業務

- ア 開館日数 316日
- イ 入場者数 25,504名 (日本人18,483名, 外国人7,021名)
1日平均80.7名 (前年度比99.0%)

- ウ 相談受付数 4, 522件 (日本人3, 282件, 外国人1, 240件)
1日平均14.3件
- エ 図書貸出数 1, 862冊 (和書1, 196冊, 洋書666冊) 1日平均5.8冊
- オ 機材利用数 ビデオ/DVD 161回
- カ 印刷物編集発行
 - ・交流コーナーだより日本語版 2, 500部/回 (毎月発行) (再掲)
 - ・仙台生活便利帳改訂版 (多言語合冊版) 3, 000部
 - ・通訳サポート電話広報カード 17, 000部
 - ・交流コーナー紹介パンフレット (日本語版2, 000部, 多言語版3, 500部)

ii. 交流コーナーイベント

より多くの市民に交流コーナーを知ってもらい、気軽に利用してもらうために、人と人が交流するきっかけとなるようなイベントを開催した。

- ア 交流コーナーで「CIR (国際交流員) と交流タイム！」
全12回実施, 延べ170名参加
- イ English Time @ Koryu Corner
全10回実施, 延べ257名参加
- ウ 交流コーナーで「Global Talk! 世界のはなしを聞いてみよう」
全5回 (インドネシア編, 中国内モンゴル編, ロシア・サハ共和国編, せんだい地球フェスタ編 (ハワイ・イタリア・ロシア), モンゴル編) 実施, 延べ227名参加
- エ 「Welcome to TOHOKU ～交流コーナーで東北の魅力を再発見～」
平成28年7月2日 (土) 実施, 27名参加
- オ 外国絵本のおはなし会
全4回 (アメリカ編, 南アフリカ編, 夏休み特別編, 特別篇) 実施,
延べ205名参加

[収益事業]

1. 観光駐車場等管理運営事業

仙台を訪れる観光客の利便を図るため、仙台駅東口駅前広場観光・送迎バス乗降場の管理運営を行った。

(1) 観光駐車場等管理運営事業

① 観光駐車場等管理運営事業

仙台駅東口駅前広場観光・送迎バス乗降場の管理運営

・利用実績

	平成28年4月1日～平成29年3月31日
利用台数	35, 534台
利用金額	19, 490, 490円

2. 物産・銘産品等販売事業

(1) 物産・銘産品等販売事業

① 仙台市作並・定義地区観光案内所における物品販売

仙台市作並・定義地区観光案内所におけるサービスの充実を図ることを目的に、観光客を対象に観光客が必要とする土産品等の販売を行った。

- ・ J R 作並駅売店における土産品、 J R 乗車券販売

年間販売実績	2, 144, 600円 (前年度比93.4%)
--------	--------------------------

② 物産品販売事業

仙台で開催されるコンベンションや県内外で開催される催事等において、仙台の物産振興と販路拡張を目的に、仙台の物産・銘産品の販売を実施した。

i. 「るーぶる仙台チョコQ作製販売」及び「名刺台紙の作製販売」

- ・ 販売実績

品名	平成28年4月1日～平成29年3月31日
るーぶる仙台チョコQ	2, 810, 256円 (前年度比211.9%)
名刺台紙	44, 820円 (前年度比112.7%)

- ・ るーぶる仙台チョコQ (茄子紺色) 新色作成・発売

ii. 地元の販売会の開催

G7 仙台財務大臣・中央銀行総裁会議歓迎「仙台・宮城の味と技フェア～ようこそ仙台へ～」を開催し、仙台・宮城のお土産・食品・民芸品の販売の他、G7加盟国の国旗などをモチーフにした工芸品や食品の限定販売を行った。また、2020年開催の東京オリンピックや進むインバウンド誘客を見据え、出店者の紹介パネルやメニュー表示を英語・日本語の二カ国語で表記し、当日は語学ボランティアの協力をいただきながら、実践を通して外国人への接客を学ぶ機会を創出した。

- ・ 開催日：平成28年5月16日(月)～22日(日)
- ・ 開催場所：J R 仙台駅2Fコンコース
- ・ 出店者数：25社
- ・ 総売上：10, 113千円 (前年度比107.8%)

iii. コンベンション開催会場での物販

- ・ 実施件数 9件
- ・ 総売上 8, 298千円